

日本創造学会 Japan Creativity Society JCS NEWS LETTER

第47回日本創造学会研究大会

2025/11/1(土)-11/2(日) 対面開催(一部動画発表)

開催会場：千葉工业大学津田沼キャンパス7号館



三浦元喜
実行委員長



五郎丸秀樹
副実行委員長



藤原由美実行委員
(プログラム担当)



杉原麻美実行委員
(プログラム担当)



古川洋章実行委員
(プログラム担当)

【参加申込締切】 参加申込は10月30日(木)まで受付いたします。(発表申込は締切しました)

大会テーマ：地域社会の活性化と創造性

近年、世界情勢の不安定化が続き、経済・社会の先行きに不透明感が増しています。日本においても、観光業の回復とともにオーバーツーリズムの課題が顕在化し、地域の持続可能な発展が問われています。一方で、大阪万博2025の開催をはじめ、各地で新たな活力が生まれつつあります。こうした状況の中、私たちは「地域社会の活性化と創造性」に焦点を当て、持続可能で創造的な地域の未来について考えます。本大会では、創造的思考を活かした課題解決の方法ならびに、それを用いた地域の新たな価値創造につながる知見を共有する場としたいと考えています。

基調講演：創造性を育むまちづくり

三矢勝司氏

名古屋学院大学現代社会学部 准教授
岡崎まち育てセンター・りた 創業者

千葉大学大学院で参加型デザイン、まちづくり支援システムを研究(1999)。関東の建築事務所等での勤務の後、故郷岡崎でまちづくりNPO設立(2006)。2023年より現職。博士(工学)



まちづくり分野で「創造性」が問われるようになった一つのトピックスに1990年代の「創造型まちづくり」があります。当時、市民参加やワークショップ、協働といったキーワードが注目され、今に続くまちづくりにも大きな影響を与えています。

今回、ゲスト講師としてお招きする三矢さんは創造型まちづくりの実践者として四半世紀にわたる実績をもつ一方、2023年から大学で教鞭をとるなど、多方面で活躍をされています。

講演では、千葉時代に携わった市民参加による公共施設デザイン事例や、人々の創造性を育むまちづくりの実践例、さらに愛知県地方での取り組みを交えて「創造性を育むまちづくり」の実践と理論についてご紹介いただきます。

大会要項

【参加方法】参加希望の方は第47回研究大会参加申込書を学会事務局までお送りください。
申込書は下記大会情報URLよりダウンロードできます。

【大会情報】 <https://www.japancreativity.jp/report/conferences/conference2025/>
基調講演のオンライン聴講（無料）ご希望の方はPeatixから申し込みが可能です。
<https://jcs-47th-conference.peatix.com/>

【会 場】千葉工業大学津田沼キャンパス7号館1階フレキシブルワークスペース（FWS）
（千葉県習志野市津田沼2-17-1 JR津田沼駅徒歩2分、京成新津田沼駅徒歩3分）

【内 容】講演会、ポスター/インタラクティブ発表会、親睦会（1号館20F展望フロア軽食付き）
フェロー就任式、学会賞表彰式、総会報告、写真撮影等

【開催方法】対面開催（ポスター発表で希望者のみ収録動画によるオンライン発表）

【参 加 費】事前振込 学生（会員/非会員同額）2,500円、正会員3,000円、非会員4,000円
当日参加（共通）5,000円※現金のみ

【親睦会参加費】学生会員2,000円、正会員3,000円、非会員5,000円 ※親睦会申込締切10/11、取消不可

【大会論文集】研究大会論文集はPDF（ダウンロード）で事前配布

【スケジュール】

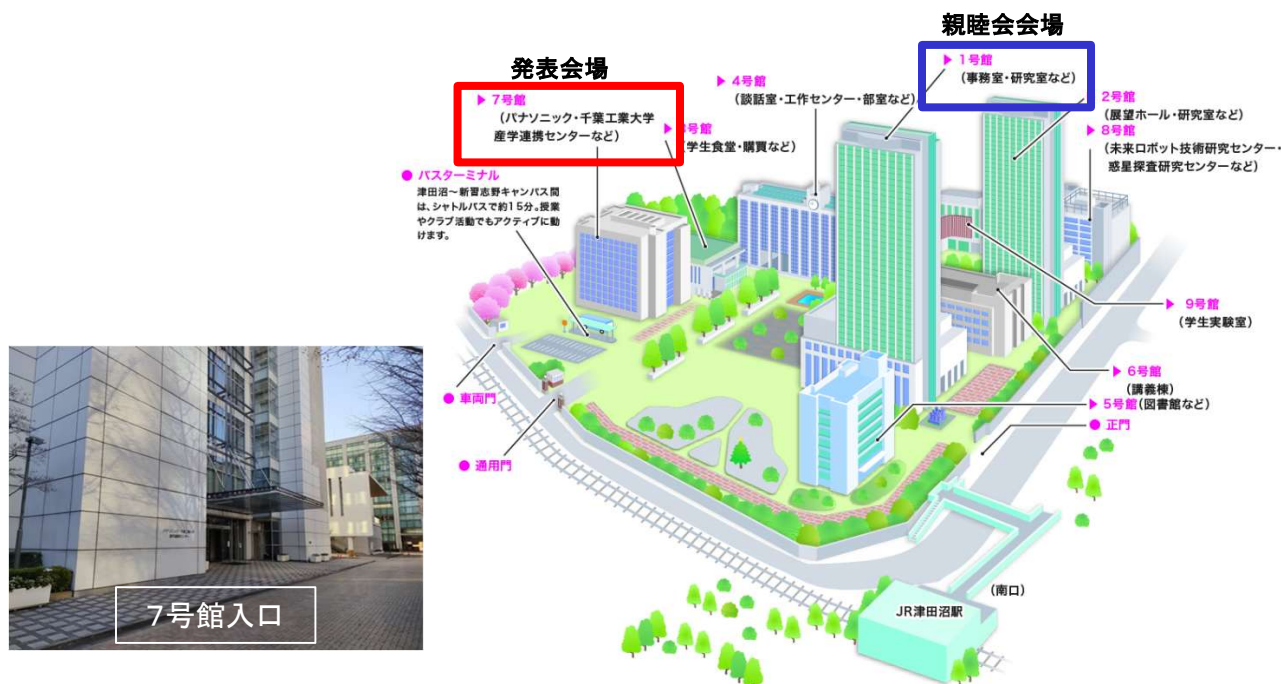
11/1（土）

14:00	開場・ポスター貼付準備
14:15	オープニング
14:30～ 15:45	招待講演（60分+質疑15分）
16:00～ 17:15	インタラクティブセッション1（概要説明15分+回遊タイム60分）グループA
17:30～ 19:30	親睦会（会場：1号館20F,軽食付） フェロー就任式・表彰式・総会報告

11/2（日）

9:00	開場・ポスター貼付準備
10:00～ 11:15	インタラクティブセッション2（概要説明15分+回遊タイム60分）グループB
11:15	休憩・入替え 15分
11:30～ 12:30	ポスターセッション1（概要説明15分+回遊タイム45分）グループC
12:30	記念写真・クロージング

【千葉工大津田沼キャンスマップ】



研究発表タイトル・グループ

インタラクティブ発表 グループA 創造教育と実践デザイン

発表日時 11/1 16:00～17:15

発表番号	氏名	発表タイトル	所属
A-01	藤井賢二 他	UXデザインプロセスによるケニアの貧困地域活性スポーツイベントの設計	慶応義塾大学大学院 SDM研究所
A-02	飯田裕美 他	“化学反応”を生む他者視点活用法ー アイデア発想WSメソッド「よそさんメガネ」の試み	パナソニックホールディングス(株)
A-03	尾澤知典 他	小学校高学年児童における「目的と手段」の相対性と階層性を理解するためのカードゲームの開発	慶応義塾大学大学院
A-04	樋口健夫 他	アイデアマラソン発想法の学年・年代別応用と目的別利用法の現状報告	アイデアマラソン研究所
A-05	三浦元喜 他	大学入学時アイデアマラソン講習受講者の追跡調査：研究室配属時 GPA および卒業研究評価との関連	千葉工業大学
A-06	杉原麻美	創造性を育む環境としての「本のある空間」 デザイナー 韓国の事例視察からの考察ー	淑徳大学
A-07	池田文人 他	問いを創ろう、未来を創ろうー科学的探究を支援する「問う力」の育成と評価ー	大阪公立大学
A-08	山本ノブヒロ	「大喜利メソッド®」が育む「共感性×意外性」基盤の創造性ー既存学習法との比較を通して	エヌアライアンス(株) /大喜利ドットジェービー
A-09	田崎 咲絵 他	参加者の力関係がデザイン批評に与える影響の探索 プロダクトデザインの現場における質的分析	東京工科大学
A-10	島 青志 他	トゥールミン・モデル（三角ロジック）を活用した創造フレームワーク	慶応義塾大学大学院 SDM研究所
A-11	石井力重	「クリエイティブ衣服」仮説	アイデアプラント
A-12	田村新吾	縄文人の創造美感考	(株)ワンダーワークス

インタラクティブ発表 グループB 社会課題解決と創造理論

発表日時 11/2 10:00～11:15

発表番号	氏名	発表タイトル	所属
B-01	三富敬太 他	評価者の記憶を活用したプロトタイプに掲載する情報設計手法の提案と検証：防災行動提案アプリを例に	慶応義塾大学大学院
B-02	伊藤 翼 他	経営戦略策定における自社の存在価値を再定義するためのデザイン思考ワークショップの提案	慶応義塾大学大学院
B-03	國枝佳明 他	高専における数理・データサイエンス・AI教育	富山高等専門学校
B-04	小國美貴	地域外人材による中山間地域の持続的社會への探求ー小松市西俣町を事例に	公立小松大学
B-05	由井蘭隆也 他	21世紀型トランスファラブルスキルを持つ創造的問題解決人材の存在次元についての考察	北陸先端科学技術 大学院大学
B-06	尾崎幸平 他	創造性の発揮に有効なタッグとは？ーペアの性格的相性と創造的パフォーマンスの関連ー	株式会社ZENKIGEN
B-07	沢井和也 他	地域課題を題材とした中等教育PBLにおけるシステム思考能力育成の授業実践	慶応義塾大学大学院 SDM研究所
B-08	豊川真美 他	well-being 経営におけるリーダーシップ思考醸成の手法開発	慶応義塾大学大学院 SDM研究所
B-09	江川致成	我が国のノーベル賞受賞研究における規定要因の分析(その2)	東京学芸大学
B-10	片山 立	異分野の統合メタ理論M ⁶⁵ ーIEEE42010、構造構成主義、批判的実在論、インテグラル理論ーの圏論による統一的理解	夢・アーキテクティング 工房
B-11	荳阪浩輔 他	行政情報システムにおける公共便益評価の初期的検討ーTBLと内部／公共説明責任を組み合わせた3×2評価枠組みの設計ー	慶応義塾大学大学院
B-12	古川洋章	評価者の癖を模倣した推論型LLMは人間のアイデア評価にどこまで近づけたか？	北九州市立大学

ポスター発表 グループC 創造的社会実装と技術革新

発表日時 11/2 11:30~12:30

発表番号	氏名	発表タイトル	所属
C-01	豊田貞光	ヒトとAIの創造性に関する比較検証—Expo2025、リゾートバイ ト、南米探訪体験から—	トヨタ研究所
C-02	國藤 進 他	Chat-GPTの応用ソフトとしてのKJ-Ho自動生成システムKJ- GPT第三弾	北陸先端科学技術 大学院大学
C-03	宮澤 洸 他	OpenCVを利用した疲労検出と休憩タイミングの提示	千葉工業大学
C-04	関 優志 他	SF映像/小説の体験がニーズ・解決策の発想の 多様性に及ぼす影 響の検証	トヨタ自動車株式会社
C-05	赤木真由 他	まちの課題解決のためのデザイン思考の活用と実践 ～周南市ス マートシティデザインラボの事例から～	周南公立大学
C-06	森田純恵 他 (上野アミ主著)	由利本荘市における地域防災教育に向けたAR 避難訓練アプリの 開発と UI/UX の研究	秋田県立大学
C-07	平沼智康 他	創造性の促進・阻害及びレジリエンスのメカニズムの探索的研究 —非クリエイティブ職のビジネスパーソンを対象として—	北陸先端科学技術 大学院大学
C-08	富沢日出夫 他	地域ブランディングの試み～北海道浜中町を題材に	産業能率大学
C-09	小粥幹夫	“思考力を育成する授業 知識と思考の構造化 改善支援の学びの 構造”	ひとつなぎの会
C-10	長谷川広泰 他	ネットワーク型知性を応用した創発支援 AI システム - 構造を超 えたイノベーション	未来図Lab工房
以下、万博参加学生支援プログラムによる発表			
C-11	マンライオルシフ・オロン トヤ サロールエルデネ・アマル ジャルガル (万博参加支援企画発表)	世界を学びお互いを知る ー大阪万博が生む地域と世界の創造性ー	産業能率大学
C-12	リウ・チー ツァイ・チンハオ (万博参加支援企画発表)	Future Science and Technology and Smart Cities: Integration of Sustainability and Human-Centered Design	千葉工業大学

ポスター動画発表 グループD 協働と包摂による未来社会デザイン

オンデマンド形式での動画公開

発表番号	氏名	発表タイトル	所属
D-01	山崎 駿 他	ベイズ推定による協働時文脈共有の場の動的シミュレーション： 即興身体表現を用いて	九州大学大学院
D-02	加藤美亜 他	中心光の輝度コントラスト変化が認知状態の揺らぎ及びはっとす るエクスペリエンスに与える影響	九州大学大学院
D-03	田所愛子 他	地域課題に対する個人ナラティブと関係性: 対話を通じた再構築 の関係	九州大学大学院
D-04	Huang Liying 他	Cross-Boundary Co-Creation Networks in Integrated University- Community Contexts:A Predictive Model of Innovation Emergence	九州大学大学院
D-05	Elly Fitriana Soedjito 他	Understanding the relationship of the experience of inclusion in the idea-generation process within a knowledge-diverse group	九州大学大学院
以下、万博参加学生支援プログラムによる発表			
D-06	加藤美亜 他 (万博参加支援企画発表)	先端技術と多文化が交差する場におけるエクスペリエンス創出	九州大学大学院
D-07	田所愛子 他 (万博参加支援企画発表)	ナラティブ展示の比較分析:シンガポールパビリオンと Dialogue Theater を事例として	九州大学大学院
D-08	Huang Liying 他 (万博参加支援企画発表)	Expanding the Potential of Large-Scale Co-Creation Living Lab: Expo 2025 Osaka	九州大学大学院
D-09	Elly Fitriana Soedjito 他 (万博参加支援企画発表)	Inclusion in Designing Future Society: How an advanced technology facilitates inclusion for future society	九州大学大学院
D-10	Wu Fan 他 (万博参加支援企画発表)	From Interaction to Creation: What Shapes Participants' Creative Agency at Expo 2025 Osaka	九州大学大学院



北欧スウェーデンの創造性を育てる ウェルビーイングな暮らし



西浦和樹

日本創造学会理事

ストックホルム商科大学・客員教授

宮城学院女子大学・教授

1. 創造性からウェルビーイングへ

「創造性(creativity)」は、「新しくユニークで意味あるアイデアや表現を生み出す力」ですが、その力を支える根源は「マインドセット（物事の見方や考え方のクセや傾向）」です。心理学では「成長型マインドセット」といわれ、心理学者のキャロル・ドゥエックの研究で広く知られるようになりました。非認知能力のような測定と評価が難しい領域です。

「失敗してもいいよ、そこから学べるから」「まだできないだけ。諦めずに練習すればできるようになる」と声掛けします。すると子どもは自然に努力し続け、安心してチャレンジし、成長し続けます。スウェーデンの教育は生涯を通じてやり直しがきくように制度設計されています。そのため、人生のどのステージでもセカンド・サードチャンスがあります。

また感情領域では、ポジティブ心理学の潮流から発展してきたウェルビーイング研究があり、従来の①客観的ウェルビーイング（経済指標）だけでなく、②主観的ウェルビーイング（幸福感、生活満足感）との関係、③集合的ウェルビーイング（文化・つながり、快適さ、生きがい等）といった人生の豊かさへと研究領域が広がっています。実践的な研究では、マインドフルネスへの関心も高く、この秋からの新しい教育カリキュラムではウェルビーイングが必要な要素として盛り込まれています。

スウェーデンのストックホルム市郊外のゴルフ場でのフィーカ（くつろぎながらの交流）の様子。アウトドア教育の教員研修会場で、北欧のアウトドア教育の権威、アンディッシュ・シェバンスキー夫妻と川崎一彦氏（東海大学名誉教授）を囲んで。自然享受権（誰もが自然を感じ、楽しむことができる基本的な権利）が保障されている。



2. スtockホルム商科大学のCWWH(Center for Wellbeing, Welfare, and Happiness)における専門性の高い取り組み

ここスウェーデンのストックホルム商科大学(Stockholm School of Economics)にあるCWWHの活動を簡単に紹介します。創造性とウェルビーイングの関係を考えるうえで、非常に興味深い取り組みが行われています。（URL:<https://www.hhs.se/en/research/centers/cwwh/>）

同センターが2025年春と夏のレポートでは、ストックホルム市がウェルビーイング成長都市として政策目標を立てるべきことを提言し、ウェルビーイングの75%が4因子TACK（つながり・共感Togetherness, 主体性・自立性Agency, 一貫性・意味づけCoherence, 動き・活力Kinectics）で説明できることが明らかにされました。



衛兵のパレード（交代式）。民主主義の象徴の国会議事堂前にて。

（次号に続く：次号はストックホルムの働き方+ブータンレポート）

▲▼▲第90回クリエイティブサロン（2025年9月27日）開催報告▲▼▲

第90回の各講演の動画は記載のURLより視聴できます。

「どのような体験が創造性の発揮に寄与するか？（ヒトとAIの比較検証）」
—Expo2025、リゾートバイト、南米探訪体験からの検証—

講師：豊田貞光氏 日本創造学会理事長

025.9.27 Sat 13:30-14:40 日本学術会議協力団体 日本創造学会
第90回クリエイティブサロン

どのような体験が創造性の発揮に寄与するか？
—Expo2025、リゾートバイト、南米探訪体験からの検証—

講師：豊田貞光氏 日本創造学会理事長

創造性要素（再構成）	解釈
①問題に気づく能力 ②再構成能力 ③高次概念化能力	体験において、いくつかの事実同士の関係性を見つけ、結びつけ、新たな概念、表現に変えることができる。（KJ法という高次概念化）
④思考の円滑さ ⑤思考の柔軟さ ⑥数値化能力	柔軟な思考で過去の経験知と比較、相関、因果など突き詰めて、比喩や他の事例を用いて表現することができる。
⑦独自性 ⑧具体性 ⑨形式知化能力	独自の体感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚など）からつかみ取った感情、感覚を形式知化できる。

赤（高次概念化力） 青（数値化力） 緑（形式知化力）

豊田貞光氏の講演は下記のURLからオンデマンド視聴できます。

<https://youtu.be/Mg-elCfJsk>

経営関連学会協議会主催： 次世代研究者共創フォーラム開催のお知らせ

経営関連学会協議会 主催

集え！
次世代を切り拓く
大学院生！

イベント
情報・登録は
コチラ

創造学会が加盟している経営関連学会協議会のイベントのお知らせです。

参加ご希望の方は、直接下記の連絡先までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
経営関連学会協議会
企画運営委員会

jfmra.p[at]gmail.com ([at]を半角のアットマークに変更してください)

経営関連学会協議会ホームページ：<https://www.jfmra.org/>

次世代研究者共創フォーラム

本フォーラムでは、次世代を担う大学院生の皆様を対象に、経営・商学・会計・経営情報の経営関連領域において、所属学会や専門分野の垣根を越え、第一線で活躍する研究者から多角的なフィードバックを得ることができます。研究の質を高めるだけでなく、異なる分野の研究者との対話を通じて、柔軟な思考力やコミュニケーション能力を養う絶好の機会を提供します。

主なプログラム

- ①学会誌で編集経験を持つ先生方による
Meet the Editors セッション
- ②大学院生による
研究報告セッション
- ③交流のための**懇親会**

2025 12.7

(日) 13:00～18:00

会場：立教大学（一部 ZOOM 視聴あり）



2025年度日本創造学会学会賞受賞者の皆様

学会賞を受賞された皆様おめでとうございます。授賞式は11/1、研究大会親睦会会場で執り行われます。
(敬称略)

論文誌Vol.28 論文賞	安松健 加清 溪太, 武田 雄策, 生田 泰志	トップアスリートの身体知のW型問題解決モデルによる普及展開 サイバーフィジカルフィールドワークの実践事例として
第46回研究大会発表賞	古川洋章	異なるペルソナを持つマルチLLM を用いた合議制アイデア評価システムの 提案
第46回研究大会発表学生賞	熊谷彩乃	別領域との組合せを促す新たなアイデア発想モデルの構築
第46回ポスター発表賞	石井力重	Imagine Card 変な動きで想像力を刺激する！20の指示カード
著作賞 学術部門	松下大輔	『デザインは間違ふ デザイン方法論の実践知』
著作賞 啓蒙部門	仁藤安久	『言葉でアイデアをつくる。問題解決スキルがアップする思考と技術』

新 入 会 員 紹 介

入会者（入会順）



氏名	会員種	所属	住所	専門分野
花輪 健一	正会員	東京エレクトロン株式会社	山梨県	電気工学・高周波工学・ データサイエンス
田崎 咲絵	正会員	東京工科大学	東京都	プロダクトデザイン・環境デザイン・ 人間中心設計
山本ノブヒロ	正会員	大喜利ドットジェーピー / エヌア ライアンス株式会社	東京都	学習支援・人材育成・ユーモア/ア イデア創発推進法
河野 太郎	正会員	トヨタ自動車株式会社	愛知県	情報工学
関 優志	正会員	トヨタ自動車株式会社	神奈川県	物理情報工学・知的財産権
山崎 蓮	学生会員	千葉工業大学大学院	東京都	情報通信・ICT
豊川 真美	正会員	慶應義塾大学大学院	岐阜県	ウェルビーイング・グリーンHRM
オサカ 学坂 浩輔	学生会員	慶應義塾大学大学院	東京都	プロジェクトマネジメント・ 情報技術
島 裕	正会員	帝京大学	東京都	イノベーションマネジメント・ 技術経営・デザイン思考
長谷川広泰	正会員	未来図Lab工房	神奈川県	知識創造システム論・創造工学・ イノベーションデザイン
周 首能	学生会員	北陸先端科学技術大学院大学	東京都	教育学・国際関係学・言語学

事務局メッセージ

創造には自由な発想と交流を促す場が欠かせません。創造性は人と人との交差点から芽吹きます。日本創造学会は、多分野にまたがる創造の営みを理論と実践の両面から支える場です。今大会でも会員の皆様の多様な視点からの研究実践が集まっております。

第47回大会の参加申込は10月末まで引き続き受付いたします。是非ご参加ください。
(事務局：比嘉)

日本創造学会 ニュースレター

2025年10月発行 (No.3)

日本創造学会事務局

発行人：豊田貞光

編集担当：比嘉由佳里

〒272-0031 千葉県市川市平田

1-10-2

Tel 080-3465-6152

e-mail: jcs-info@japancreativity.jp

<http://www.japancreativity.jp/>